

佳作賞受賞者

「事故物件」

大学一年生の美咲は、実家を出て一人暮らしをしている。コンビニでのアルバイトと単位取得のために勉強に追われる毎日だ。

ある日、アルバイト先の先輩に教えてもらった、事故物件を調べることができるとWEBサイトを覗き、自分の住む部屋のとまりが事故物件であることを知る。幼児虐待による死亡事件が起こった部屋だった。

その日を境に、美咲は身近に小さな男の子の気配を感じるようになる。友人のいない孤独、経済的な不安、アルバイト先での失敗が美咲を追い詰めるごとに、男の子の気配は色濃くなり、姿を現すようになっていく。いつしか美咲は、その男の子「シゲル君」の存在に依存するようになっていた。

祖父の初盆に参加するために帰郷した美咲は、出来の良い弟に対する劣等感と、女子の進学に理解のない親戚たちに失望して、予定を繰り上げて自分のアパートへ戻った。シゲル君へのおみやげを抱えて……。

部屋に戻っても現れないシゲル君を心配しながら、再び事故物件のサイトを検索する美咲。そこにあったのはその事故情報が誤りであり、このアパートで事件など無かったという情報だった。

「シゲルくんがいなくなっちゃった」と書かれていた。

転職が成功し、楠木は運送会社のドライバーとして働くことになった。先輩ドライバーに連れられながら回ったアパート上に、美咲の住んでいたアパートがあることを知る。車を降り、見上げた美咲のかつての部屋の窓は、ただ空を写すだけだった。

佳作賞

「事故物件」

『八月の群れ』63号

山咲真季氏

山咲真季（やまざき・まき）

一九七四年一月二十七日、大阪市生まれ。

一九九七年より「八月の群れ」同人。

現在、大阪市在住。

シゲル君の正体はなんだったのか、パソコンの画面を見つめながら美咲は呆然とした。

楠木は美咲のバイト先での教育係だ。頼りない美咲を心配しながらも、都合の良いようにシフトを押しつけることに罪悪感を持っている。楠木自身にも他の学生バイトや主婦パートに対する劣等感があり、正社員として転職を目指している。

美咲の職場での態度の変化に気づきながらも、過去、ナンプに失敗した気まずさから話を聞くことができないでいた。

お盆明け、真面目な美咲の無断欠勤を心配した楠木は、店長から住所を聞き出して美咲の住むアパートを訪ねる。美咲は不在で結局会えないまま一カ月以上が過ぎた。

バイト先のコンビニに美咲の母親と名乗る女性が現れ、美咲が実家に戻ったことを知る。美咲のことを案ずる様子もない店長を見て、楠木は真剣に転職を決意する。

転職サイトを見るために立ち上げたタブレットには、以前、美咲に教えた事故物件サイトの履歴が残っていた。興味本位で美咲のアパートの住所を入力する楠木。そこには美咲の部屋の番号と孤独死事故があったという情報が掲載されていた。そして、どうやら美咲らしいハンドルネームのついたコメントを見つける。コメントにはたった一行、

●これまでの受賞者・受賞作

第一回 || 佐々木国広「バトンダンス」

第二回 || 杉本増生「花冷え」

佳作 || 望月廣次郎「お見合いゲーム」

小倉哲哉「オキナワ・ウッドペッカー」

第三回 || 野元 正「飴色の窓」

佳作 || 西向 聡「ずんだれ」

島田勢津子「インデイゴの空」

第四回 || 神盛敬一「衝海町」

佳作 || 森口 透「イージス艦がやって来る」

第五回 || 美馬 翔「波ゆるる」

佳作 || 泉りょう「三伏の候」

大西智子「トモダチゴッコ」